

2. 土木技術情報ライブラリー

Technical information library of civil engineering

1. はじめに

2007年、団塊世代の大量退職を迎え、ベテラン職員の経験や技術力を次世代の職員に引継ぐと共に、少数精鋭時代に対応するために、局が持つ技術情報や重要資料を整理・保管・提供するシステムの構築が急務となっている。

こうした状況に対応するため、土木技術センターは、建設局ナレッジマネジメントシステム内に土木技術情報ライブラリーを開設した。

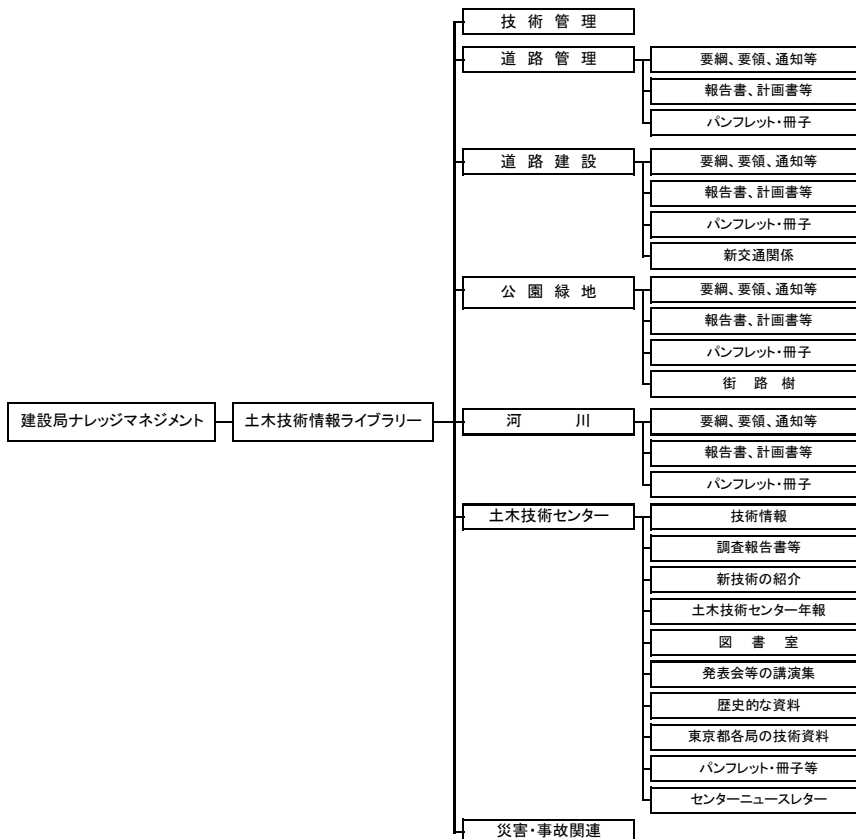
建設局職員は、技術情報等が集約化された土木技術情報ライブラリーから、机上のパソコンを通して、業務に必要な技術情報や重要資料を、より簡単に迅速かつ確実に入手することが可能となっている。

2. 土木技術情報ライブラリーの概要

技術情報や重要資料は、土木技術センターが各部署等から収集、デジタル化して、職員が利用し易いように分類、整理、編集のうえ、図-1の通り体系化し、さらに発行部所・発行年月・説明を付けて提供している。

平成19年4月現在、土木技術情報ライブラリーに掲載している技術情報や重要資料は、約750点（要綱・要領・通知等：約130点、報告書・計画書：約180点、その他・パンフレット・講演集など：約440点、センター図書リストなど）である。

図-1 土木技術情報ライブラリーの体系図



3. 主な掲載資料

- (1) 要綱・要領・通知等、
 - 「道路施設点検調査要領書」
 - 「カラー舗装設計施行指針」
 - 「道路設計図面作成の手引き」、等
- (2) 報告書・計画書等
 - 「建設進むオリンピック関連街路」
 - 「放射16号線に関する評価書、近接施工協議、橋梁形式選定、平成3年～平成18年に作成された一連の流れに従って整理された報告書」
 - 「緑化に関する調査報告」
 - 「神田川・江戸川橋分水路事業の概要」、等
- (3) パンフレット・冊子
 - 「今歴史が語りかける-音無橋が変わります」
 - 「街路樹マップ 1988」
 - 「神田川調節池（環状七号線街路下）」、等

写真—1 掲載している資料例



(4) 図書室

土木技術センターが所蔵する図書類約5000冊を、建設局職員の業務執行に役立てるため、貸出しを行っている。

(5) 歴史的な資料

建設局の所蔵する古い写真や図面等を分類・整理して保管している。そのうち職員の業務に活用できる写真等は、土木技術情報ライブラリーで提供している。

写真—2 古い写真例

国会議事堂付近の都道(昭和20年代)



勝鬨橋(昭和20年代)



4. 今後の予定

- (1) 技術資料の質・量を拡大する。
- (2) 土木技術センター内の土木技術情報ライブラリー運用体制を確立する。
- (3) ライブラリーの管理者と利用者との意見交換等を行い、土木技術情報ライブラリーの充実と更なる活用する。